

[様式2] 令和5年度 第2学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析
 東京都北区立滝野川第二小学校

| 国 語 | | |
|---|---|--|
| 内容別結果の分析 | 観点別結果の分析 | 内容・観点のクロス分析 |
| 問題の内容別正答率を見ると8項目全て目標値を上回っている。しかし、「話を聞き取る」「漢字を読む」「書く」では全国、区の平均値を0.6～2.7ポイントの範囲で若干下回っている。 | 「知識・技能」は目標値は5.7区を0.2、全国を0.8上回っている。「思考力・判断力・表現力」は目標値を9.6全国を10.3区を3.5上回っている。「主体的な態度」では目標値を11.8全国を13.6区を5.2上回っている。 | 観点別では全て上回ったが、内容別では「話を聞き取る」「漢字を書く」では下回っている。基礎的な力、活用する力共に身に付いているが、今後はドリル反復により漢字の力を定着させていく。 |
| 算 数 | | |
| 内容別結果の分析 | 観点別結果の分析 | 内容・観点のクロス分析 |
| 全ての項目において目標値と全国平均は上回っている。「時計」が1.1「グラフ」が0.8「長さ・かさ」では0.1ポイント区の平均を下回った。 | 「知識・技能」は目標値は7.6区を2.3、全国を4.4上回っている。「思考力・判断力・表現力」は目標値を9.5全国を8.5区を3.3上回っている。「主体的な態度」では目標値を9.6全国を9.5区を3.9上回っている。 | 基礎的、活用的にも身に付いている。「時計」の苦手な児童が多いので、普段の生活から時計を活用して身に付けていく。 |

[様式2] 令和5年度 第3学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

| 国 語 | | |
|---|--|---|
| 内容別結果の分析 | 観点別結果の分析 | 内容・観点のクロス分析 |
| 問題の内容別正答率を見ると、8項目のうち7項目において、目標値、区平均を大きく下回った。特に「説明文の読み取り」「書く」においては、目標値に対して11ポイント、区平均に対して15ポイント以上も下回っている。 | 「知識・技能」は5.9ポイント、「思考・判断・表現」は6.4ポイント、「主体的に取り組む態度」は5.7ポイント、目標値を下回る。区平均と比べても、「知識・技能」は11.3ポイント、「思考・判断・表現」は13.1ポイント、「主体的に取り組む態度」は15.3ポイント下回っている。 | 内容別・観点別ともに、全項目で目標値を下回り、区平均を大きく下回った。まずは「知識・技能」を確実に定着させることを目指す。そのためにも、読む力(音読・朗読)と書く力(語彙、漢字、文章表現)力を向上させる。相手を意識した伝え方の指導を、日常の言語活動に取り入れていく。 |
| 算 数 | | |
| 内容別結果の分析 | 観点別結果の分析 | 内容・観点のクロス分析 |
| 問題の内容別正答率を見ると、8項目のうち、5項目で目標値を上回った。区平均と比べると、7項目で10ポイント前後下回る。特に「図形(箱の形)」については、12.2ポイント区平均を下回った。 | 「知識・技能」「主体的に取り組む態度」が目標値より、それぞれ1～2ポイント上回っている。「思考・判断・表現」は1ポイント下回っている。しかし、区平均と比べると、それぞれ5～10ポイント程度下回っている。 | 全体として目標値を僅かに上回っているものの、全ての項目で区平均を大きく下回っている。今後は、適用問題やドリル反復により知識・理解を確実に定着させるとともに、ノート指導を充実させて思考力や表現力を身に付けさせる必要がある。 |

〔様式2〕

令和5年度 第4学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

| 国 語 | | |
|--|---|--|
| 内容別結果の分析 | 観点別結果の分析 | 内容・観点のクロス分析 |
| 「漢字の読み書き」や「言葉の学習」「読み取り」は目標値を上回っているが、「聞き取り」はやや下回り、「文章を書く」内容は7ポイント下回っている。 | 「知識・技能」は目標値より7ポイント高いが、「思考・判断・表現」はやや低く、「主体的に学習に取り組む態度」は5ポイントほど低い。 | 基礎的な知識は身に付いているが、思考・判断して活用する力が低い。そのため表現する力が乏しく、書く意欲が低くなっている傾向が見られる。思考力を高め、言語として表現する力を付ける必要がある。 |
| 算 数 | | |
| 内容別結果の分析 | 観点別結果の分析 | 内容・観点のクロス分析 |
| 全ての内容において目標値を上回っている。特に「口を使った式」と「時刻と時間」は10ポイント近く高い。しかし「わり算」と「表と棒グラフ」は区平均より5ポイント近く低い。 | 全ての観点において目標値を上回っている。区の平均と比べると「知識・技能」は変わらないが「思考・判断・表現」と「主体的に学習に取り組む態度」は1～2ポイント下回っている。 | 基礎・基本的な内容は82.3ポイントと習熟率が高く、活用問題でも目標値より8ポイント高い。さらに伸ばすには「表と棒グラフ」や「わり算」の内容において思考力・判断力・表現力を高める学習が求められる。 |
| 理 科 | | |
| 内容別結果の分析 | 観点別結果の分析 | 内容・観点のクロス分析 |
| 「音の性質」「電気の通り道」「磁石の性質」「物の重さ」など「物質・エネルギー」の領域は目標値より0.8ポイント下回っているが、「生命・地球」の領域は10ポイント以上上回っている。学習の習熟に片寄りが見られる。 | 全ての観点において目標値を上回っている。「知識・技能」と「思考・判断・表現」は5ポイント程度上回っているが「主体的に学習に取り組む態度」は2.1ポイントの差しかない。記述式の問題において正答率が低い傾向がある。 | 「生命・地球」の領域において、論理的な記述問題を求められる問題において目標値より下回っている。「知識・理解」も低く、基礎・基本を習熟していないために理論立てて記述することができないと考えられる。 |

| 国 語 | | |
|---|---|--|
| 内容別結果の分析 | 観点別結果の分析 | 内容・観点のクロス分析 |
| 8つのすべての内容項目において、目標値および全国平均正答率を上回っている。「漢字を読む」では0.3ポイント、「学校をしょうかいする新聞を作る」では3.5ポイント、区の平均正答率を下回っている。 | 3つの観点すべてにおいて、目標値および全国・区の平均正答率を上回っている。特に「思考・判断・表現」については、区の平均正答率を3.7ポイント上回っている。 | 漢字を書くことや文章を読み取る内容については、十分身に付いている。「思考・判断・表現」の能力も高まっているが、課題のある内容に対して、資料から情報を読み取り、記述する力を高めていく必要がある。 |
| 社 会 | | |
| 内容別結果の分析 | 観点別結果の分析 | 内容・観点のクロス分析 |
| 6つのすべての内容項目において、目標値および全国・区の平均正答率を上回っている。すべての項目で、区の平均正答率を3ポイント以上上回っている。正答率の低い「先人の働き」の内容でも、4.7ポイント上回っている。 | 3つの観点すべてにおいて、目標値および全国・区の平均正答率を上回っている。特に「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」については、区の平均正答率を5ポイント以上上回っている。 | 「知識・技能」が十分身に付いており、「主体的に学習に取り組む態度」も高まっていると考えられる。資料から多角的に必要な情報を読み取り、考察する力を身に付けるなど「思考・判断・表現」の能力を高めていく必要がある。 |
| 算 数 | | |
| 内容別結果の分析 | 観点別結果の分析 | 内容・観点のクロス分析 |
| 10項目全ての項目で、目標値および全国・区の平均正答率を上回っている。特に、「データの活用」に関しては13ポイント上回った。「変化と関係」「図形」はやや上回り方が少ない。 | 3つの観点のうち、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の3つとも目標値を上回っている。特に「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」に関しては目標値を12ポイント上回っている。 | 内容別・観点別に見て、全般的に目標値を上回っているため、より発展的な学習を行うことが必要である。上回り方がやや少なかった「変化と関係」「図形」領域の学習で十分な定着が図れるようにしていく。 |
| 理 科 | | |
| 内容別結果の分析 | 観点別結果の分析 | 内容・観点のクロス分析 |
| 12項目のうち8項目で目標値を上回っている。しかし、「1年間の動物のようす」では5.4ポイント、「電気の働き」で3.8ポイント、「物の体積と力」で9.9ポイント、「物のあたまり方」で3.5ポイント目標値を下回っている。 | 3つの観点のうち、「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」は目標値を上回っているが、「知識・技能」で目標値を0.3ポイント下回っている。区の平均正答率を比べても、4.4ポイントと大幅に下回っている。 | 理科の学習に対する主体性を活かしながら、観察・実験から導き出された「知識・技能」をしっかりと身に付けさせる必要がある。考察、結論の過程を大切にしながら、基礎的な概念を言語化できるように繰り返し指導していく。 |

[様式2]

令和5年度 第6学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

| 国 語 | | |
|--|--|--|
| 内容別結果の分析 | 観点別結果の分析 | 内容・観点のクロス分析 |
| 8つの項目のうちすべての項目で目標値、区の平均正答率を上回っている。特に、「漢字を書く」と「調べたことをもとにポスターを書く」に関しては目標値を15ポイント以上上回った。 | 3つの観点のうち、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の3つとも目標値を上回っている。特に「主体的に学習に取り組む態度」に関しては目標値を16.6ポイント上回っている。 | 内容別・観点別に見て、すべてにおいて目標値を上回っているため、主体的に学習に取り組む姿勢を活かしながら、より発展的な学習を行うことが必要であると考えられる。問題解決的な学習の中で話す、聞く、書く、読むを組み合わせしていくことも重要である。 |
| 社 会 | | |
| 内容別結果の分析 | 観点別結果の分析 | 内容・観点のクロス分析 |
| 9つの項目のうち8つの項目で目標値を上回っている。特に、「世界の中の国土」「日本の農業」「日本の工業生産」「情報を生かした産業」「自然環境と国民生活」に関しては10ポイント以上上回った。しかし、「日本の水産業」に関して、3.9ポイント下回っている。 | 3つの観点のうち、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の3つとも目標値を上回っている。特に「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」に関しては目標値を10ポイント上回っている。 | 内容別の結果から「日本の水産業」のみで目標値を下回っており、産業の中では身近ではない存在のため、イメージをすることが難しかったと考えられる。実体験を伴わない内容であっても資料から大切な情報を読み取り、物事の全体像を捉える力を育む必要があると考えられる。 |
| 算 数 | | |
| 内容別結果の分析 | 観点別結果の分析 | 内容・観点のクロス分析 |
| 10項目のうちすべての項目で目標値を上回っている。特に、「多角形と円・合同」「面積」「割合」「円グラフや帯グラフ・平均」に関しては15ポイント以上目標値を上回った。 | 3つの観点のうち、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の3つとも目標値を上回っている。特に「主体的に学習に取り組む態度」に関しては目標値を16.5ポイント上回っている。 | 内容別・観点別に見て、全般的に目標値を大きく上回っているため、より発展的な学習を行うことが必要であると考えられる。また、「数と計算」に関する領域では、目標値と近接しているため、基本的な計算技能の定着が求められる。 |
| 理 科 | | |
| 内容別結果の分析 | 観点別結果の分析 | 内容・観点のクロス分析 |
| 10項目のうち9項目で目標値を上回っている。特に、「魚のたんじょう」「流れる水のはたらき」に関しては、10ポイント以上目標値を上回った。しかし、「植物の花のつくりと実」では3.7ポイント、目標値を下回っている。 | 3つの観点のうち、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の3つとも目標値を上回っている。特に「主体的に学習に取り組む態度」に関しては目標値を9ポイント上回っている。 | 内容別の結果から「植物の花のつくりと実」のみで目標値を下回っており、生命領域の中でも植物に関する内容に苦手な傾向が見られる。理科に対しての主体性を活かし、植物への興味・関心を高めることが必要であると考えられる。 |